

1・2ブロック第2回研究会 参観者用メモより（感想や意見）	同意の数
研究会全体で	
とても楽しい授業でした。そして、いい勉強になりました。9月からの授業に大変参考になりました。	27
黒板への板書(子どもたちといっしょにドリル学習を兼ねながら板書をしていく)が、大変良かった。学習のめあてや流れがよく分かった。	21
児童の実態を考慮して、指導案を工夫され、より大きな学習効果があったと思う。子どもたちの顔を思い浮かべながら、指導案を考えていくことの大切さを感じた。	18
カードゲームやビンゴゲームは、是非取り入れたいと思いました。	6
いろいろな視覚的支援がしてあり、自分の学校でも取り入れたいと思いました。	6
準備されていた掲示物・プリント等が良かった。また、小道具なども児童の関心を引くものだった。	5
やりたいことやアイデアもいっぱいあるが、むしろ、その中から、どれを選択するかという、精選も大切なことである。	3
「自分も頑張ろう。」と思いました。	3
楽しい授業でした。先生方が子ども役だったので、挙手は少なかったですが、子どもたちなら、かなり積極的に挙手したと思います。ゲームの中でセンテンスを言いながら、カード交換するので、定着もしやすいと思いました。言葉と動作がつながるようなゲームが有効だと思いました。	2
チャッツは、それ自体が定着しすぎると、英語のイントネーションが不自然になってしまうことがある。ちょっと困ったことがあった。	2
ご助言いただいた先生の講話は、大変参考になった。	2
ビンゴゲームを、ゲームとして行ったら競争になり、子どもの意識も英語から離れてしまうかもしれない。インタビューをすることで、英語への意識が継続でき、すばらしいと思った。	2
テンポの良い授業で感心しました。耳だけでなく五感で、英語に慣れ親しむことができたと思います。	2
英語のプリントに、ローマ字で名前を書かせていますが、ローマ字の方が良いでしょうか？	1
指名の方法として、列ごとに言わせると、短時間で多くの児童が発音するようになるし、不安な子どもも安心して活動できると思う。	1
手拍子のリズムを使って、発音練習をするのは、とても良いと思いました。	1
「a」「an」の冠詞がつく場合の扱いをどこまでやればよいか疑問に思っています。	1
文字をカード等で児童に示す前に、しっかり音を聴き、音でその単語を身につけるようにさせるべきだと思います。	1
理由の説明では、日本語で良いと思う。子どもの中には、そのことに躊躇してしまう者もいる。	1
同じレッスンでも、様々な方法や手段があることを再確認できた。	1
このような研究会に参加できて、大変勉強になった。7月までの自分の指導を振り返る良い機会でした。	1
定着させるために、繰り返すことが重要である。	1
本時のねらいから、児童の興味がそれそうになった場合、修正するには、どんな方法があるでしょうか？	1
みんなが集まって、こうして協議することで教材解釈や指導方法について、いろいろ考えた。こうした機会を、今後も増やして欲しい。	1
楽しい中にも、たくさんの発話の機会があり、子どもたちは、しっかりと慣れ親しんだと思います。	1
文章や単語について、英語で板書をするべきでしょうか？良い面・悪い面の両方があると思います。	1

評価について	
先生が明るい表情で、英語や日本語でよく誉めていた。子どもたちの意欲も高まると思う。	24
Big Voice Big Smile Eye Contact の3つについて、担任もAIEもよく意識され、指示もよく出され、そして、評価をされていました。子どもたちの自信につながったと思います。	12
先生の明るい笑顔での評価。子どもたちが、「英語は楽しいなあ。」と思える授業だったと思う。9月から、私ももっと努力したいと思った。	10
アクティビティーをどう評価されるのか？また、子ども同士の他者評価も有効ではないかと思えます。	6
アクティビティー後の評価の仕方がすばらしかったです。	4
一人一人について、良いところを具体的にピックアップして、誉めておられた。子どものやる気を高める評価でした。	2
子どものちょっとした気づきや動きを評価し、全体へ広げていくことが重要である。	1
子どもにリピートさせる早さに注意する必要がある。リズムを優先すると早くなりがちである。正確に発音させるには、しっかり聴かせることが大切になる。担任が、児童の様子をしっかり観察することが大切である。	1
全員や集団の評価と個人の評価が、うまくちりばめられていた。子どもたちは、楽しく活動したと思う。	1
内容理解の程度は、評価にどのように関わるのか気になりました。	1
AIEと担任について その連携について	
AIEの英語について、適宜、日本語での補足が必要だと思う。5年生のうちは、日本語での説明が大切である。	16
担任とAIEの役割がわかりやすく良かった。担任の先生の説明がとても分かりやすかった。	10
ジェスチャー・顔の表情・目線・声 どれも良かった。先生方の笑顔と声で明るく楽しい授業になっていました。	6
複数指導のお手本のような授業だった。しっかり打ち合わせをして、授業をつくっていきたい。	4
担任とAIEのやりとりで、ルールを確認する場合は、それだけでは不十分な場合もあると思う。担任の先生による日本語での説明や確認が必要である。	3
AIEの先生の発音のスピードについて、早かったり、ゆっくりだったり、児童の様子を見ながら、発音しなければいけないと思った。	2
担任もできるだけ英語を使うようにしたい。	2
AIEが発音する場合は、例えばカードを提示する場合は、AIEの口が隠れないようにすることが重要である。カードを高く提示しようとして、口が見えなくなることがある。	1
5年生と6年生では、授業中の英語の割合が変わってくるべきだと思う。担任の先生の英語は、6年生では、5年生よりも増えるようにしたい。	1
活動中の机間指導がよくできていた。担当する場所なども決められていたのだと思う。	1
AIEの先生の出番が少ないような気がしましたが、その存在感は大きく感じました。	1
担任の役割が、よく分かりました。	1